

授業は教師の命 ～授業づくりで考えたいこと～

1. 授業のうまい先生になること

- ・授業のうまい先生は「熱意」もあるし「元気」だし「一生懸命」だし「生徒指導」もうまいし「優しい」、そして何より「子ども理解」がしっかりしている。そして「学級づくり」もうまい。授業がうまくなるということは、教師としてのあらゆる条件も成長するということ。だから授業づくりは大切な修業。 授業で子どもも教師も成長！ 授業は教師の命。

2. **おなか** の授業をつくる ・ **お**もしろい授業 **な**かよくできる授業 **か**んがえる授業

- ・難しいことを簡単にわかりやすく教えるのがホンマものの先生。

(※簡単なことを難しく教えるのが大学の先生(笑) ごめんなさい)

どうしたらいいか? ⇒ 教科書通りはおもしろくない ⇒ アイデア、発想の転換・・・

3. 1時間の展開の特徴

- ・水戸黄門型・・・1話完結(気持ちよく終わる)
- ・月9ドラマ型・・・1話連続(続きが楽しみで終わる)

4. 授業の健康診断 ～心電図でみる授業検診～

- ・正常・・・小さな山が規則よく・・・一問一答型
- ・不整脈・・・山が大きくなったり小さくなったり・・・心が揺さぶられる
- ・死亡・・・まったく平坦・・・おもしろくない
→授業の成否は、子どもの心をどれくらい揺らすことができるかにかかっている

5. 子どもの心が揺れるのはこんな時

- ・自分の考えや行動と違う時 ・友だちと意見が食い違う時 ・先生と違う時
- ・思ってもみなかったこと(驚き、意外) ・本音と建て前がぶつかる時
えっなんで? それおかしい! びっくりした! おもしろい! やってみたい!

6. 授業の腕を上げるには

- ・いい授業を見る→どこまでも見に行く ・研究授業をする→1年に1回以上はする

7. 指導案をきちんと書けるようになったら一人前

指導案をみる3つの視点 ・このクラスの子どもの様子がみえるか?(子どもの実態)
・この先生が何をめざしているかがみえるか?(教師の意図)
・どう指導しようとしているかがみえるか?(指導の具体)

指導案とは→→→ こんな子どもだから→こんな教材を使って→こんな指導をしたい
(児童観) (教材観) (指導観)

8. あの子この子を意識した授業づくり

クラスで一番しんどい子が目を輝かすにはどうしたらいいか、そこから授業づくりは始まる

9. ほんものはつづく。つづけるとほんものになる(東井義雄) ※培其根(ばいきこん)

研究会案内 富山市立堀川小学校 5月28日(金) 29日(土)

奈良女子大附属小学校 6月11日(金)

静岡市立安東小学校 12月3日(金)

元気塾の予定 6月19日(土) 歌声あふれる学級に ～ピアノが弾けなくて出来る歌の指導～

7月17日(土) みんなで楽しくできるゲーム特集(実技)

8月7日(土) 夏季セミナー 兵庫県民会館10時～17時 曲里、大路、仲島